

令和元年度 福岡市手をつなぐ育成会保護者会における参加型の音楽活動を軸にした実践研究（2年目）

< MLAP（ムラップ） Music with Life for All Project あらゆる人に生涯音楽プロジェクト >

<生涯学習としての意義>

- ・MLAPは、参加型音楽会を通して、自尊心の向上や精神的な安定を得ながら、自立や自律に繋がり、豊かな地域生活を送ることができるようになる効果をねらいとした生涯学習プログラム。
- ・障がいのある人が社会参加する機会が増えること、地域住民とともに活動することで障がいへの理解が進み、共生社会の実現にも寄与すると考える。

<MLAPの特徴>

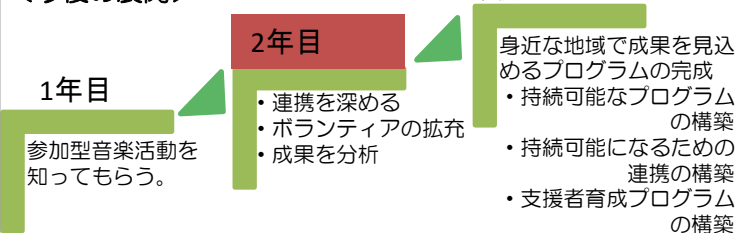
MLAPが参加型音楽活動を手段とする理由

- ①音楽の柔軟性、すなわち個人でも集団でも、CLOSEDでもOPENでも、身体と五感を使ったあらゆる参加方法がある（歌う、演奏する、リズムをとる、踊る、掛け合う、観賞するなど）

MLAPの特性を生かしたプログラム

- ①障がいの有無、音楽経験の有無、年齢・性別・国籍・などに関わらず地域住民の誰もが参加できる。
- ②障がいニーズに合わせて楽しみながらコミュニケーション力を学習することができる。

<今後の展開>



MLAPの可能性 ～ 生涯学習と地域共生社会の実現

<参加者の感想から>

- ◇障がいのあるご本人：楽しい。また参加したい。ボランティアをしたい。
- ◇障がいのある子どもをもつ保護者：父親が亡くなった時、家でも学校でも不安定になったが、MLAPの活動は穏やかな表情で参加できた。継続してほしい。そして、親が連れて行けなくなっても参加できるように身近な場所での実践をお願いしたい。
- ◇学生ボランティア：障がい者という一線を置いていたが、参加して自分と変わらないと感じたし、自分の視点の変化に成長を感じている。友人を誘って今後も参加したい。
- ◇福祉事業所の職員：参加して、日頃見られない利用者の方の笑顔や積極性を見て、とてもうれしかった。このような表情が日頃でもできるよう支援の仕方考えるようになった。

<多様な主体との連携>



- 自立・自律
- ゆたかな地域生活
- 社会参加
- 自尊心の向上
- 障がい理解
- 精神の安定

- 身近に在る
- 気兼ねなく気軽に
- 楽しく参加
- 継続が可能

